

# 高等部 美術科 2 段階

単元名:「2 年 2 組の思い出ブックを作ろう」

J さんの本時の評価規準 (美術科 2 段階)

【知識・技能】

- ・形や色彩、材料や光などの働きを理解している。
- ・材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表している。

【思考・判断・表現】

- ・造形的な特性などから全体のイメージを持ちながら、対象や事象を深く見つめ感じ取ったことを考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に、主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現する構想を練っている。

## 資質・能力を育むための指導のアイデア

## 【指導と評価の一体化】

### 教材

- ・机の上にテーマを置いておくことで常にテーマを明確にした活動を設定する。

### 指導

- ・写真が多すぎると選ぶのに悩んでしまうため、写真の精選や、一度写真を机に並べるなどして空間を整理できるようにする。
- ・画面から離れて見るように声をかける。

### 言葉

- ・美術科で授業をするための環境作りが大切 (どこに絵の具を置くのか、筆を置くか等)。

### 単元構成

- ・情報科と関連付けてこの授業を展開するのも良い。写真の選択や、写真のサイズを自分自身で調節したり、今まで情報科で習ったことも取り入れたりしながら制作できるとよい。



< 単元研究会のあと・・・ >

あくまでも先に「活動」を決めるのではなく、どのような学習指導要領の「内容」を生徒に学習させたいのかを考え、「活動」に入っていけるかが大切だと実感しました。そのためにも学びの履歴を活用して、履修状況を確認していきたいです。また、単元の構成が曖昧だと、どのような授業をしたいのかがブレると感じます。生徒自身が授業をして、どの部分に向かっているのか分かるように、単元の目標から外れないように授業をしていくことが大切だと考え、次に生かしていきたいと思います。

